令和８年度学校教育研究計画書

１　研究主題

社会で生きる力の育成をめざした授業づくり
～主体的な学びとそれにつながる基礎的な力を育む授業改善を通して～

２　研究の構想

【研究の目標（目指す姿)】
○　小学部、中学部：生活や学習の基盤となる基礎的な力の育成
○　高等部：基礎的な力を土台として、主体的に学び、自己選択・自己決定につながる力の育成

【研究の視点１】
基礎的な力の育成（小・中学部）
○何をするのか（明らかにする内容）
・「自分の意思を表現する力」、「聞く・読む力」、「情報を理解する力」など、生活・学習の基礎的な力を育むための授業改善
○どのようにするのか（研究の方法）
・国語科・算数（数学）科を中心に、文部科学省著作教科書等を活用した授業実践

【研究の視点２】
自己選択・自己決定につながる力の育成（高等部）
○何をするのか（明らかにする内容）
・基礎的な力を土台として、主体的に学び、選択し、行動する力を育むための授業改善
○どのようにするのか（研究の方法）
・「話し合い活動」、「体験的な学習」、「選択活動」などを取り入れた授業実践

【学校の現状】（○：よさ、●：課題）
○　「チーム筑特」による組織的な協働体制に基づいた支援・指導ができる。
●　学習した内容を生活に生かし、情報を活用しながら主体的に選択・自己決定する力のさらなる育成が必要である。

【前年度研究の成果と課題】（○：成果、●：課題）
○　食に関する指導を通して、児童生徒が生活と結び付けて主体的に学び、基礎的な力と実感を伴った理解が育まれた。
●　学習内容を生活に生かし、情報を活用しながら主体的に選択・自己決定する力の育成と、授業改善の一層の充実が必要である。

３　研究のスケジュール

月	内容	月	内容
４月		10月	・各学部での取組
５月	・研究構想、計画の確認	11月	↓
６月	・各学部での取組	12月	↓
７月	↓　・外部講師による研修会	１月	・全体報告
８月	↓	２月	
９月	↓	３月	・次年度の研究方向性の確認